

山形森林管理署 もがみ支署通信

知識と技術力の向上に取り組んでいます

最上支署では、職員の知識と技術力の向上に継続的に取り組んでいます。

9月4日には、森林総合研究所林木育種センター東北育種場の研究員を講師に、林業用の品種開発等についての研修会を行いました。

林業用の品種開発では、時代の要請に応え、松くい虫などの病虫害や耐雪害などの気象害への抵抗性品種に加え、近年では、花粉の少ないスギなどの花粉症対策品種が開発されてきています。また、成長が優れた品種は、下刈り回数の削減が期待できるなど低コスト林業への貢献も期待されています。職員は、自らの担当業務も念頭に、品種開発に係る最新情報などについて熱心に聞き入っていました。

今後とも、職員の知識や技術力の向上を図りながら、適切な森林の保全・整備に取り組んでまいります。



研修会の様子



講演の内容(抜粋)

事業の成果・知見等を発信しています

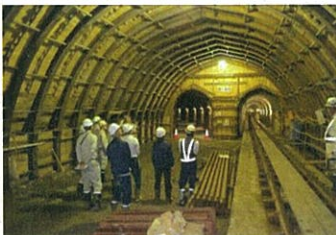
9月20、21日の両日、東京都渋谷区で行われた「治山研究発表会」に参加しました。

最上支署からは、地元の要請を受けて平成8年より大蔵村において実施している「銅山川地区地すべり防止事業」の排水トンネルの工事状況について、発表しました。

同事業の排水トンネル工事は、全国的にもほとんどの例のない規模の地すべり防止工事であり、同工事で得られた知見は、他地域の工事でも参考となり得るものとなっています。

当日は、全国の自治体や民間事業者の関係者を中心に約200名が参加し、質疑応答も活発になされるなど熱気あふれる中での発表となりました。

最上支署では、このような機会も通じて、事業の成果・知見等について積極的に発信していきます。



銅山川地区地すべり防止事業で施工した排水トンネル



排水トンネルの掘削作業



当支署職員の発表



研究発表会場の様子

地域の森林環境教育イベントを支援しました

10月1日、最上町新倉見地区等において、学生を対象とした地域再発見のためのワークショップ(主催:もがみ地域理解プログラム運営委員会)が開催されました。

当日は、最上地域の高校生や大正大学の学生など16名が参加し、枝打ちなどの林業体験や地元農家の方から農業の現状などの講演が行われました。最上支署からも職員2名が参加し、枝打ち作業等の指導を行いました。参加した学生たちは、普段使い慣れないのこぎりに苦戦しながら、熱心に作業を行っていました。

このように、最上支署では、地域振興や森林環境教育のための取組にも積極的に支援していきます。



主催者挨拶



作業指導も真剣に聞き入っていました



職員から作業について説明



初めての枝打ち体験!



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字木ノ下新林1793地内(仮庁舎)

